

令和8年度福島県避難地域の新たな体験機会共創事業業務委託
公募型プロポーザル 質問に対する回答書

	質問事項	回答
1	「移住関心層」の多くが住む首都圏からのツアープログラムなどを企画したいと考えていますが、自社で旅行業を持っていない場合は、「運送（移動）」と「宿泊」の手配を行うツアーを実施するには、旅行業を持つ事業者との協業が不可欠となりますでしょうか。また、浜通りに移住関心層と地域の人が交流する空間をつくる空間整備は本事業の対象でしょうか。	旅行業に該当する事業を実施する場合は、関連法令に違反することがないように適切に対応いただくようお願いいたします。 イベント実施に必要な会場でのブース設置費用などは対象となりますが、期間を超えて資産として残る建築物は対象外です。
2	質問1) 対象となる地域には、避難に伴う精神的負担からの精神疾患や発達に課題を持つ子どもたちも現在多く住んでいる。また、経済的移住支援に伴い、経済面や親自身に困り感を抱える世帯が移住、引っ越ししてくることも多い。対象の12市町村の中の双葉郡の現体制として放課後等デイサービスもなければ、保育所等訪問支援事業をやっている事業所もないため、発達に課題を持つ子どもがいるご家庭では、移住に対して足踏みしてしまう状況がある。私たちの団体としては、まずその発達に課題がある子どもたちが安心して、学校に通ったり、生活ができるための環境調整、環境づくりをし、その状況をイベントで視察に来ていただくことで移住促進につなげたいと考えています。そこで、主に学校や保育所での環境調整や、その訪問支援事業に行く人件費と交通費を予算の中に入れることが必要と考えていますが、このプロポーザル事業の予算とすることは対象になりますでしょうか。 質問2) プロポーザルに参加する場合に、企画提案書に添付する見積書とは、企画提案する事業の予算書ととらえていいでしょうか。発行元は、企画提案する私たち団体名でいいか。	質問1) 本委託事業の対象となる経費は、業務委託仕様書の「3 業務の内容」に記載されている（1）（2）（3）となります。 なお、本事業はあくまで移住関心層の方々に12市町村の魅力体験いただき、移住につながる関係・交流人口の創出を目的として実施する事業であることをご留意ください。 質問2) 見積書は契約相手方（福島県）に提示する契約金額の提案書になります。発行元は、企画提案書を提出する団体名義のものになります。
3	3.事業の内容（カ）について 地域住民との深い交流を目的とした夜間のプログラム（ワークショップ等）を組み込む場合、その運営に伴う飲食・宿泊の一部を『プログラム運営費』として計上することは可能でしょうか？	業務委託仕様書 3 業務の内容 （1）イベント等の企画・実施の（カ）に記載のとおり「参加者の飲食代や宿泊代等の個人受益部分は参加者の自己負担」とした内容でご提案ください。
4	1. 想定されている採択件数は、何件程度をご教授願います。 2. 想定されている支出の制限をご教授願います。 特に、再委託、人件費、一般管理費の割合や上限等について、ご教授願います。	1. 募集要項10（2）のオに記載のとおり評価点の合計点数が高い順から予算の範囲内で契約候補者を選定しますので、現時点で採択件数はお答えできません。 2. 業務委託仕様書 3 業務の内容 （1）イベント等の企画・実施（カ）のとおりになります。また、支出の割合の制限及び項目ごとの金額の上限については制限はありませんが、再委託が多い場合及び一般管理費の割合が高い場合は個別に確認、協議をさせていただく場合があります。
6	プロポーザル参加者の資格要件 (1) 一般枠については、福島県内に所在する以下のいずれかの団	「民間事業者単体」は単一の民間事業者との理解で問題ありません。また、複数の民間事業者のみで構成される団体による参加は可能です。

体等であること。

質問内容

避難地域復興課のホームページに「民間事業者等による団体（民間事業者単体での参加はできません）」との記述があります。

- 5 ここでいう「民間事業者単体」とは、単一の民間事業者による応募を指す理解でよろしいでしょうか。また、複数の民間事業者のみで構成される団体（コンソーシアム等）による参加は可能かご教示ください。

9 企画提案書の記載内容、提出書類

質問内容

複数の団体がそれぞれに企画提案を行い、採択後に連携して事業を実施する（ジョイントする）形式は認められますでしょうか。

認められません。

連携して事業を実施する形式については、企画提案の段階で構成するようにお願いします。